

政策番号	6	政策分野	文化
------	---	------	----

基本方針 暮らしのなかに文化芸術がいきいきと息づき、ひとびとの豊かな感性が育まれるとともに、そこで生まれる活力やにぎわいが、まちの活性化につながることをめざして、文化芸術とまちづくりを一体化させた取組を促進する。このような取組を通じて、京都を魅力に満ちあふれた世界的な文化芸術都市として創生する。

担当局	文化市民局
-----	-------

共管局	
-----	--

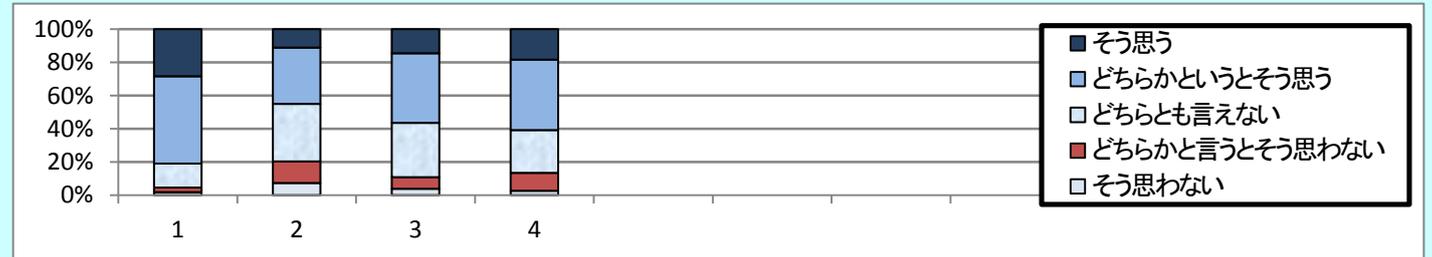
政策の評価

1 客観指標評価

指標名	23年度 評価値	32年度 目標値	23 年度	24 年度	25年度評価				
					前回は	最新値	目標値	達成度	評価
1 市民ふれあいステージ出演申込数(件)	103	—	a	a	103	80	103	77.7%	e
2 京都市芸術文化特別奨励制度応募者数(件)	77	—	d	d	72	72	110	65.5%	d
3 文化施設の年間入場者数(人)	3,125,718	—	d	b	3,399,819	2,931,984	3,470,802	84.5%	d
4 本市が指定、登録した文化財の数(件)	7	—	b	c	6	6	9	66.7%	c
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価				c	b				d

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		23年度	24年度	25年度
1	京都では、文化芸術にかかわる活動が盛んである。	a	a	a
2	市民の生活に文化芸術がとけ込んでいる。	c	c	c
3	文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。	b	b	b
4	文化財が社会全体で大切にされ、地域の活性化にもつながっている。	b	b	b
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
市民生活実感調査総合評価		b	b	b



2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

23年度		24年度		25年度	
順位	%	順位	%	順位	%
15	14.5%	14	15.3%	17	80.8%

3 総合評価

C	政策の目的がそこそこ達成されている		
	<p>【客観指標】・市民ふれあいステージについて、継続的に申込されていた市民の減少が顕著であり、過去5年間で最低の数値となり、e評価となった。市民の応募を促すよう、より積極的な周知等が必要である。</p> <p>・京都芸術文化特別奨励制度の応募者数は、過去5年間の最高値という目標値には届かず、昨年度と同様に、d評価となった。多様なジャンルの若い芸術家に応募してもらえるよう、様々なチャンネルを通じた働きかけが必要である。</p> <p>・文化施設の年間入場者数については、各施設とも大型のイベント等に乏しく、入場者数が伸び悩んだため、d評価となった。</p> <p>・文化財の指定・登録数について、文化財保護審議会に諮問した案件は、すべて指定・登録されたものの、ほぼ例年並みの件数となり、昨年度と同様に、c評価となった。</p>	24年度	B
	<p>【市民の実感】・市民の実感については、全体として昨年と同様の評価となった。</p> <p>・文化芸術の市民生活への普及については、「どちらとも言えない」との回答が多いものの、文化芸術活動の活発さは高く評価されており、文化芸術によるまちの活性化や地域の活性化についても肯定的に評価されている。</p>	23年度	C
	<p>【総括】・市民の実感が客観指標を上回る結果となった。</p> <p>・京都のまち全体として、文化芸術活動が着実に根付いているものの、文化芸術が日々の暮らしの中に浸透し、市民自身がより身近に感じ、実際に活動などに参加してもらえるよう、更に取組を進めることが重要である。</p> <p>・こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は、そこそこ達成されていると評価する。</p>		

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価>

施策番号	施策名	評価結果			参照ページ
		23	24	25	
0601	すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり	C	B	B	87
0602	歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援	B	B	C	89
0603	世界的な交流を視野に入れた文化芸術環境の向上	C	B	A	91
0604	かけがえのない文化財の保護、活用と伝承	A	A	A	93

<今後の方向性>

- ・世界的な文化芸術都市・京都の創生を目指し、継承と創造に関する人材の育成等、創造環境の整備、文化芸術と社会の出会いの促進の3点を重視し、文化芸術によるまちづくりを進める。
- ・継承と創造に関する人材の育成においては、伝統芸能文化のさらなる創生に向けた取組や、芸術家の育成・活動支援、文化芸術に親しみ、その楽しさを知る子どもたちの育成に取り組む。
- ・創造環境の整備においては、京都会館の創造・発表拠点としての再整備や、国内外との文化芸術交流による質の高いコミュニケーションの促進等に取り組む。
- ・文化芸術と社会の出会いの促進においては、市民が文化芸術及び芸術家と出会う機会を充実するなど、文化芸術と暮らしを改めて結び付けるための取組を推進する。

政策名	6	文化
-----	---	----

指標名	市民ふれあいステージ出演申込数（件）
-----	--------------------

担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先	366-0033
------	-----------	-----	----------

1 指標の説明

市民ふれあいステージ（市民に文化活動の場を提供し、多くの方が気軽に文化芸術に触れる機会を創出するため、市民参加型の催しとして、毎年10月に開催）への出演申込数

2 指標の意味

文化芸術が市民の日常生活の中に溶け込んでいることを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠
	103	—	平成27年度～平成31年度実績の最高値を目指す

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		達成度
	22年度	24年度		数値	根拠	
数値	103	80	23件減	103	過去5年間（平成19～23年度）の最高値（平成20年度）	77.7%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値					

備考	H19 90件、H20 100件、 H21 92件、H22 103件 (H23は国民文化祭に集約されたため非開催)
----	---

5 評価基準

最新の数値が、過去5年間の
a：最高値以上
b：最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
c：上中間と平均値の間
d：平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
e：下中間以下

6 基準説明

申込数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較するため、過去5年間の数値をもとに、基準を設定した。
最高値：103（平成22年度）
平均値：96
最低値：90（平成19年度）

7 評価結果

23	24	25
a	a	e

指標名	京都市芸術文化特別奨励制度応募者数（件）
-----	----------------------

担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先	366-0033
------	-----------	-----	----------

1 指標の説明

京都市芸術文化特別奨励制度（将来に向けて積極的な芸術文化活動を行う、若い芸術家等の育成を目的として奨励金を交付）への応募者数

2 指標の意味

文化芸術の新たな創造活動が活発に行われていることを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠
	77	—	平成27年度～平成31年度実績の最高値を目指す

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		達成度
	23年度	24年度		数値	根拠	
数値	72	72	増減なし	110	過去5年間（平成19～23年度）の最高値（平成19年度）	65.5%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値					

備考	H19 110件、H20 70件、 H21 85件、H22 77件 H23 72件
----	---

5 評価基準

最新の数値が、過去5年間の
a：最高値以上
b：最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
c：上中間と平均値の間
d：平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
e：下中間以下

6 基準説明

応募者数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較するため、過去5年間の数値をもとに、基準を設定した。
最高値：110（平成19年度）
平均値：83
最低値：70（平成20年度）

7 評価結果

23	24	25
d	d	d

政策名	6	文化	
指標名	文化施設の年間入場者数（人）		
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先	
		3 6 6 - 0 0 3 3	
1 指標の説明			
文化施設（動物園，美術館，二条城，無鄰菴）の利用者数			
2 指標の意味		3 算出方法・出典等	
幅広い市民が多彩な文化芸術に親しんでいることを示す指標		出典：事業担当課調べ	
4 数値			
10年後の（平成32年度） 目標値	平成23年度評価値 3,125,718	平成32年度目標値 —	根拠 平成27年度～平成31年度実績の最高値を目指す
	前回数値 23年度	最新数値 24年度	推移
数値	3,399,819	2,931,984	467,835人減
	単年度目標値		達成度
	根拠		過去5年間（平成19～23年度）の最高値 （平成21年度）
数値	3,470,802		84.5%
	全国順位	中長期目標	
	数値	目標年次	達成度
数値			根拠
	備考		H19 3,107,667人 H20 2,892,436人 H21 3,470,802人 H22 3,125,718人 H23 3,399,819人
5 評価基準		6 基準説明	
最新の数値が，過去5年間の a：最高値以上 b：最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間 c：上中間と平均値の間 d：平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間 e：下中間以下		利用者数は毎年変動するものであり，一定安定的な数字と比較するため，過去5年間の数値をもとに，基準を設定した。 最高値：3,470,802（平成21年度） 平均値：3,199,288 最低値：2,892,436（平成20年度）	
7 評価結果		23	24
		d	b
			d

指標名	本市が指定，登録した文化財の数（件）		
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先	
		3 6 6 - 1 4 9 8	
1 指標の説明			
本市が指定，登録した文化財の数			
2 指標の意味		3 算出方法・出典等	
かけがえのない文化財が保護されていることを示す指標		算出方法：事業担当課調べ 出典：京都市教育委員会告示	
4 数値			
10年後の（平成32年度） 目標値	平成23年度評価値 7	平成32年度目標値 —	根拠 平成27年度～平成31年度の指定，登録文化財件数の最高値を目指す
	前回数値 23年度	最新数値 24年度	推移
数値	6	6	増減なし
	単年度目標値		達成度
	根拠		過去5年間（平成19～23年度）の最高数値 （平成21年度）
数値	9		66.7%
	全国順位	中長期目標	
	数値	目標年次	達成度
数値			根拠
	備考		H19 6件，H20 4件 H21 9件，H22 7件 H23 6件
5 評価基準		6 基準説明	
最新の数値が過去5年間の a：最高値以上 b：最高値と平均値の間 c：平均値 d：最低値と平均値の間 e：最低値以下		指定・登録件数は毎年変動するものであり，一定の数字と比較する。過去5年間の数値をもとに，基準値を設定した。 最高値：9件（平成21年度） 平均値：6件 最低値：4件（平成20年度）	
7 評価結果		23	24
		b	c
			c